

公ほすぴたる

組合立病院 ◇公立豊岡病院◇公立日高医療センター◇公立出石医療センター◇公立朝来梁瀬医療センター◇公立朝来和田山医療センター

公立豊岡病院、神戸大病院と協定

小児救急患者の 搬送へりに医師同乗



▲▼ 保育器に入った赤ちゃんを搬送する訓練の様子（公立豊岡病院ヘリポートにて撮影）

公立豊岡病院では、兵庫県消防防災ヘリコプターを利用して小児救急患者の転院搬送を行う場合に、神戸大学医学部附属病院の小児科医師が同乗することについて、同病院との協定を締結しました。調印式は、八月一日に神戸大学医学部附属病院で行われ、同日より運用開始となりました。

公立豊岡病院では、新生児や小児の重症患者の緊急治療のため、より高度な治療を実施できる医療機関に、転院していただくケースが年間十数件あります。平成十九年度にはこのような事例が十九件（うち乳児八件）あり、ほとんどの場合は救急車での搬送となつ



ドクターヘリによる 小児救急患者の 転院搬送のしくみ



ています。救急車での搬送は神戸まで片道約二時間を要し、長時間にわたる患者様の医学的管理を行いつながりの搬送は、患者様本人だけでなく医師にとっても大きな負担となっていました。八月一日からは、豊岡病院が新生児や小児の重症患者の搬送を必要とする際に、神戸大学医学部附属病院の小児科医師がヘリに同乗すること

で、豊岡病院側の医師の負担が軽減されることとなります。ヘリコプターは、神戸のポートアイランド内の基地から、いったん神戸大学附属病院のヘリポートに寄り、同病院の小児科医師を乗せたうえで、豊岡病院のヘリポートに飛来し、患者様を乗せた後、神戸大学医学部附属病院まで搬送することになります。これによって搬送時間は約三十分となり、患者様の負担も医師への負担も大きく軽減することになります。ヘリコプターを活用して、より早くより安全な搬送体制が確立でき、地域にとっても安心して医療が受けられる環境が整うこととなります。

院内 インタビュー INTERVIEW

第4回

院内インタビュー四回目は、公立豊岡病院の中央手術室に勤務する看護師の小畑敬信さんです。豊岡病院には全部で七つの手術室があり、年間約四千例の手術を行っています。小畑さんは、平成十四年からこの手術室で多くの手術を担当して来られました。今回は普段あまり聞けない手術室での話や、今の仕事を選んだ理由、仕事に対する思いなどについてインタビューしましたのでご紹介します。

— どのような仕事をされていますか？

● 豊岡病院の中央手術室で、主に手術介助の看護業務を担当しています。
— 手術介助って？

● 術者である医師の手助けをすることです。介助には三つの役割があります。術者に手術器具を手渡したり、手術で使う清潔な器械を準備・管理したりする、器械出し介助、患者様の全身状態の管理を行い円滑な手術をコーディネートする、外回り介助、と外回り介助を助ける、補佐の三つです。一つの手術に、三人が看護チームとなり医師、麻酔科と協力して毎日、安全な手術を行っています。

— 大変そうですね。ところで、豊岡病院の看護師になろうと思った動機は？

● 自分が豊岡出身で、地域の人々の健康維持につながるような職業につけたらいいなと思います、最初は大学で社

会福祉について学びました。

— 最初は社会福祉志望だったんですか？

● はい。大学で勉強するうちに実際に人に接する看護師という職業に興味を持ち、大学を卒業後に看護学校に進みました。母が看護師として働いていたのも自分が看護師を目指すきっかけになりましたね。





— 念願がなつて豊岡病院の看護師になられた訳ですが、いかがですか、職場の雰囲気は？

●手術室という環境上、仕事中は緊張感が張り詰め、スタッフ全員とても真剣ですね。しかし、休憩時には和やかな、ほっと一息つける温かい雰囲気になります。仕事の相談や困ったことも話し合い、次につなげていくプラス思考な職場風土で、自身多くのことを学ばせていただいています。

— そんな環境の中で、あなたにとって、やりがいとは？

●人の命に直結するため緊張の連続の職場ですが、その中で患者様の安全を守り、円滑に手術が終わった時に、大きなやりがいを感じます。また、実際の看護に生かそうと、手術前後に患者様を訪問し、お話をさせていただけますが、術後訪問

の時に「怖くなかった」「心配していたけどよくしてもらえた」と患者様から感謝の言葉をいただくことがあります。こんな時に、なにより手術室看護のすばらしさを感じます。— 患者様からの感謝の言葉ですか。ありがたいですね。仕事に向かう意気込みも変わってくるのでは？

●はい、看護師としての能力をさらに高めていかなければという気持ちになりますね。だから今は手術室認定看護師資格取得に向け、看護の振り返りと自己学習を行っています。他の病院の手術室看護師さんたちと勉強会を開いたり、学会などに参加したりして情報交換をしています。日々の業務では、常に自分にできる最大限のことをやるうと意識しています。業務内容は色々ですが、チームとして他のスタッフとのコミュニケーションを十分にとりつつ、細かいところまで配慮した仕事をやっていきたいと思っています。

— でも、仕事柄、疲れやストレスがたまりませんか？

●働いていく上で、ストレスマネジメントは大切ですね。私は釣りやスキーが趣味なので、それをしているときは普段の生活から少し離れた別世界です。職場でも休憩の時など、同じ趣味を持つ人たちと楽しい時間ができます。最近凝っているのはアロマテラピーです。ゆっくり自分の

好きな音楽を聴きながら、心を楽にすると、それだけでも疲れた神経が休まる気がします。

— 公立豊岡病院組合では現在来年度採用の看護師を募集していますが、最後に、看護師を目指している方々にメッセージをお願いします。

●どのような職業でも言えることですが、一生懸命にやるうという意思を持つことが大切です。自分なりの目標を持って、それに向かって突き進んでいく心構えと努力を怠らない勤勉さが、必ず自分の大きな財産となります。私たちと共にこれからの豊岡病院組合を盛り立てて行きましょう。お待ちしております。



平成21年度公立豊岡病院組合職員採用試験のご案内

試験職種	募集人員	採用試験	受験資格	受付期間	試験日・会場
助産師 看護師	45人	●教養試験 ●作文試験 ●適性試験 ●面接試験	昭和43年4月2日以降に生まれた者で、来春に当該資格免許を取得見込みの者、又は当該資格免許取得者	平成20年 9月1日(月) ～ 9月30日(火)	平成20年 10月15日(水) 統轄管理事務所 第一会議室

※募集要項は統轄管理事務所総務部人事課（公立豊岡病院2階）にて配布しています。

《正規職員の採用に関するお問合せ》
公立豊岡病院組合 統轄管理事務所総務部人事課
Tel.0796-22-6111 内線2102・2103

経口補水療法のすすめ

子どもに痛い思いをさせたくないお父さんお母さんへ



みなさんは「脱水」と聞いてどのような事を思い浮かべられるでしょうか？
真夏の熱中症など暑い季節のことだ、と思われる方も多いことと思いますが、
実は発熱や下痢、おう吐によっても起こされます。特に子どもは吐いたり下痢
したりすると脱水症状を起こしやすいものです。いざ脱水症状になると、病院
ではまず点滴をされることが多く、これまでは痛がって泣く子どもをなだめ
たり、あやしたりされた経験をお持ちの方も多いと思います。最近では、中程度
までの脱水には「経口補水療法（けいこうほすいりょうほう）」というものが推
奨されています。さて、経口補水療法ってなんでしょう。名前は難しいです
が、方法は非常に簡単です。経口補水液のペットボトルをキャップ一杯ずつ飲
ませるだけです。

針を刺さなくても、たったこれだ
けのことで点滴と同様の効果が期待
できます。小さい子どもへの点滴は
子どもが痛がるので、針も刺しにく
く、本人も親も医師も大変です。経
口補水療法なら、親も医師も楽です
し、何よりも子どもが痛い思いをせ
ずに帰宅できます。しかし、それ
も全く飲めなかつたり、飲んでもす
べて吐いてしまっ
た、などの場合には「頑張っ
て点滴しようか。」という
ことになります。



豊岡病院での実際の服用例

- ①診察してすぐに点滴が必要でなければ経口補水療法について説明し、経口補水液を購入してもらい、どの程度飲めるか、30分程度、待合室で試してもらいます。
- ②その際、少しずつ飲んでいただきます（ペットボトルのキャップ1杯ずつ程度）。嘔吐がある場合でも、この方法ならある程度飲めることが多いです。
- ③わずが100cc程度でも、吐かずに飲めて、子どもの色つやがよくなると、お父さんお母さんの目にも明らかに回復が実感できます。

Q&A

■スポーツドリンクは駄目なの？

経口補水液に関しては、スポーツ飲料などで代用ができそうにも思えますが、同じだけの量を摂取しても、実際に腸から吸収された水分量は、五分の一ほどまで落ち込むという実験結果が出ています。スポーツドリンク（イオン飲料）は塩分が少なく、糖分が多いので脱水の治療には向きません。

■子どもだけの飲み物？

食事が少ないご年配の方にも有効です。ご年配の方は、体の働きが少し弱っている上に体が保有している水分も少なくなっていたり、体の乾きに対する敏感さが弱ってきているので、ご年配の方は子どもの次に脱水症におちいりやすいので、経口補水療法は有効です。

■どこに売っているの？

この経口補水液は特定保健用食品でありながら、コンビニやドラッグストア

経口補水療法とは？

「経口補水療法」とは、もともとは下痢症により引き起こされた脱水の治療法です。医療資源の乏しい途上国では、点滴治療が実施できない場合が多く、さらには手技の未熟さや経験不足のため、静脈ルートからの感染など大きなリスクを伴いました。このような現場で多くの子どもたちを救ってきたのは、糖分、塩分を一定の割合で水に溶かして作成した溶液を経口的に補給する治療法でした。「経口補水液」は、飲む点滴として開発されました。脱水状態の治療のために水分と電解質を素早く補給できるようにナトリウムとブドウ糖を一定の濃度に溶かした飲み物です。普通のスポーツ飲料より塩分が多く、甘みが少ないのが特徴です。

豊岡病院では、救急外来の待合室廊下に、経口補水液の自動販売機を設置しています。利用にあたっては、医師の指示に従って購入、飲用をお願いします。

アでは見かけることが少ないです。それは、特別用途食品でも病者用食品（個別評価型）というもともと治療効果が期待できるレベルの製品ということを厚生労働省が認めた製品だからです。（注意：ゼリータイプは病者用食品ではありません）このレベルの製品は医薬品と同じように、利用にあたって医師や看護師、薬剤師などの指導が必要という判断から、保険調剤薬局などで売られるのが推奨されています。

公立豊岡病院組合立病院の病院理念をご紹介します

公立豊岡病院組合立病院では、下記のような理念を掲げ日々の診療にあたっています。また、理念を浸透させるために、常に携帯する職員各自の名札の裏に印刷したり、院内掲示や各種印刷物への掲載などを積極的に行っています。

■ 豊岡病院組合経営理念

- ①公立豊岡病院組合は、地域住民の健康な生活を支える中心的役割を果たすとともに、他の関係機関との適切な機能分担と密接な連携を通じて、地域の保健医療福祉の向上に貢献します。
- ②公立豊岡病院組合は、自治体病院としての使命に情熱を燃やす職員集団を形成し、顧客の満足度を重視した良質で効率的な医療サービスの提供を図ります。

■ 豊岡病院

信頼できる病院

地域の基幹病院としていつでも水準の高い医療が受けられる病院をめざします

思いやりのある病院

患者さん本位に、対話と愛情をもって医療を行う病院をめざします

安らぎのある病院

快適な療養環境をととのえ、明るくうらやましいのある病院をめざします

地域に根ざした病院

医療・保健・福祉機関との連携をはかり、地域に貢献できる病院をめざします

■ 日高医療センター

私達は、地域の医療機関との適切な機能分担と密接な連携を通じて地域の保健・医療・福祉の向上に努め、安全で信頼される医療提供を目指します。

■ 出石医療センター

私達は、ノーマライゼーションの視点に立ち、患者様および地域住民に対して総合的なヘルスケアサービスを提供し、地域社会に貢献します。

職員が医療人としては勿論のこと、社会的、文化的に成長し続ける組織を構築します。

■ 梁瀬医療センター

疾病予防、早期発見、早期治療（各種内視鏡治療など）を目的に、地域の方々に信頼された医療を提供できるよう今後とも努力いたします。

訪問看護、訪問診療など患者様や家族の方々に安心していただける地域に密着した医療を今後とも続けます。

■ 和田山医療センター

基本理念

「地域住民の視点に立った信頼される病院」

基本方針

- ・患者様の権利を尊重し、心のこもった医療を提供します。
- ・患者様に安心・安全で、質の高い医療を提供します。
- ・地域との連携を深め、地域住民のニーズに応じた医療を提供します。



FMジャングル

76.4MHz

放送日／毎週火曜日13:00～
(30分間)

再放送／水曜日10:30～
金曜日20:00～

また、医師不足や医療現場が置かれている現状等も、この番組をとおしてお伝えし、市民の皆さんに理解を深めていただくことで、一人ひとりがそれぞれの立場で何が出来るかを考えるきっかけになればと思います。ぜひ聞いてみてください。

五月から公立豊岡病院組合の医師や看護師などの職員がFMジャングルに出演しています。「いきいきTOYOOKAほすびたる」と題して、毎回病院からのお知らせや健康についてのアドバイスなどをお話しています。今まで知っていたようで知らなかった病院や医療のことを市民の皆さんに知っていただきます。

★いきいきTOYOOKAほすびたる★
意外と知らない医療の話、
病院職員がFMジャングルで
語ります

和田山医療センターからお知らせ

8月から

人間ドックを再開

現在予約受付中です



和田山医療センターでは、医師不足のため昨年より人間ドックの受付を休止してきました。市民の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。七月の異動で内科（消化器科）に三宅直美先生が赴任され、人間ドックを再開できるとなりました。毎週火曜日のみですが、現在予約受付をしていますのでぜひご利用ください。

● 検査内容

身体計測、血圧、検尿、検便、血液、胸部X線、心電図、胃透視、眼底

● オプション

腹部超音波エコー、胸部CT検査、前立腺検査、骨粗鬆症検査、乳癌検査、動脈硬化検診

● 料金

一日基本検査コース
二八、三五〇円（税込）



お問合せ・お申込み

和田山医療センター 医事課
電話番号 079-674-2021（内線200番）
受付時間 午前8:30～午後5:15
（土・日・祝祭日、年末年始を除く）

看護師の卵を温める？

豊岡病院ふれあい看護体験に多くの高校生が参加！

豊岡病院看護部では、毎年、豊岡市内の高校生を対象に「ふれあい看護体験」を実施し、多くの高校生に医療現場への就業体験の機会を設けています。今年度は、七月二十八日から三十日までの三日間で実施する予定でしたが、応募者が非常に多く、さらに八月四日にも体験日を増やし実施しました。男子学生二名を含む五十四名の参加があり、「命の重み、尊さを感じ感動した。」「患者から信頼され、患者に安心を提供できる助産師になりたい。」「絶対看護師になってこの病院で働きたい。」と大変嬉しい感想をいただきました。

日夜、多くの患者様の治療を行う医療現場にとって、学生を受け入れることは大変なことですが、将来にわたって但馬の医療、看護を守るためには大切なことだと考えています。



兵庫県小児救急医療電話相談

◎市外局番が06・072以外のプッシュ回線の方



8000

こどものけが、病気で困った時はまずココに相談

◎市外局番が06・072、ダイヤル回線、携帯電話、IP電話の方



はきはきゆうきゅう
(078)731-8899

《相談時間》

平日、土曜日 午後6:00～午前0:00
日曜日、祝日及び年末年始 午前9:00～午前0:00

豊岡病院救命救急センター受診時の知っていただきたい

5つのお約束

- 1 緊急度・重症度の高い方を優先します
（救急車で来院されても後回しになります）
- 2 緊急性の有無により待てる検査は後日専門科やかかりつけ医（開業医）に依頼します
- 3 薬は原則一日分の処方
- 4 診察は原則救急医か当直担当医がします
（最初から専門医が診ることはありません）
- 5 開業医さんの夕方診察・土曜午前診察の活用をおすすめしています

※今号でお知らせする医師の異動情報はありません。（七月二日～八月一日）

◇発行 公立豊岡病院組合 ◇〒668-8501 豊岡市戸牧1094 ◇TEL 0796-22-6111（内線2111）

◇URL : <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/> ◇E-mail : kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp

●本紙掲載の写真・イラスト・記事の無断使用・無断転載は禁じます。